



9月の「第3回傾聴作文」では、1～3年生は担任ではない先生の話（例えば1年1組で2年1組の担任が話す）、4～6年生は校長先生の話を書いて自分を感じたことを文章にまとめました。

第3回の校長先生のお話と子どもたちの感想をお知らせします。

☆☆☆校長先生のお話☆☆☆

今日の傾聴作文は、4、5、6年生に、失敗が成長につながる、というお話をします。失敗をすると、大体の人は相当へこみますよね。失敗したことで、失敗を挽回しようとして学ぶことはとても多くて、自分自身の大きな成長につながるのです。

誰でも失敗することはあります。自分が思った通りにならなくて、落ち込んでしまうことは、人間なら結構あります。例えば、テストの結果が悪かったり、発表で間違えてしまったり、リレーで転んでしまったり、友達を傷つけることをつい言ってしまい、仲が悪くなったり、他にもいろいろな失敗があるでしょうが、そういう失敗経験をした人は多いと思います。そのように失敗したときに、どうするのがいいと思いますか？ 反省すること？ もちろん、反省することは大事です。それよりも、その失敗を挽回する方法を考えて、すぐに実行することが大事です。逆に、失敗したことをいつまでも嘆いているのはよくありません。嘆き続けたって何もよくなることはありません。

かつて、プロ野球の監督だった野村克也さんは、「失敗と書いて、成長と読む」と言っています。今は亡くなっていますが、弱いチームを強くして、何度も優勝させるような名監督の言葉です。これは、失敗をしまくれば成長する、ということではありません。失敗をしたら、じゃあ、どうすればいいか、知恵を振り絞ってアイデアを出し、「今度は、こうやってみよう」とか、「次はこれを使ってみよう」とか、失敗しない、うまくいく方法を考えて、それを次々と実行すると、失敗を挽回できる、つまり成長するということです。それが貴重な経験になって、次に同じような場面に遭遇したときには、まず失敗せずにうまくいくでしょう。

失敗したときには、ぜひ、「失敗と書いて、成長と読む」を思い出してみてください。

児童の感想から

- ・このお話は、失敗してしまったらどうして失敗したのかを考えることが成功につながるというお話でした。私はこのお話を聴いて、失敗しても理由を考えることで成功させることができるということが心に残りました。お話を聴いて、自分と似ているなと思ったことは、失敗した時に落ちこんでしまうことです。私も空手でふらついてしまって失敗し、落ち込んでしまうことがよくあります。でもこれからは、ずっと落ちこんで泣いていないで、どうして失敗したのかを考えて成功につなげていきたいと思いました。（4年生）
- ・このお話は、失敗は誰にでもあるし、失敗したらどこを変えればいいかを考えれば成功するというお話でした。お話の中で「失敗は成長と読む」という言葉が気に入りました。僕は失敗したことの中で一番悔しい失敗は、宿題の簡単な所を間違えたことです。次からは、失敗した所をどうすれば成功させられるかを考えたいです。（4年生）
- ・失敗しても次はこうしようと思えることが成長につながるというお話でした。このお話を聴いて心に残ったことは、失敗をどんどんすれば成長できるということではなく、なぜ失敗したかを考え実行すれば成長できるということです。自分も似た経験がバドミントンであります。これをやったら点をとられたから、次はこうしていこうと考えた経験があります。これからは、失敗したら次はこうしてみようと考え、実行していきたいです。（4年生）
- ・失敗をそのままにするのではなく、また頑張ればできるようになるというお話でした。このお話を聴いて、失敗すると悲しくなるけれど、その失敗からよくない点を見つけ、もっと考えればよくなり成功につながると思いました。私も似た経験があります。それはバトンの技です。難しい技があり、失敗してばかりいたので、できないままにしていました。けれど友達もあきらめずに頑張っていたので、私も頑張ろうという気持ちになったことがあります。これからは、苦手なことに失敗してもあきらめずに、成功に近づくためにはどうすればよいかを考えることを意識しようと思いました。（4年生）

- ・私はこの話を聴いて、失敗は成長につながるということが分かり、失敗もそんなに悪いことではないと思いました。でも失敗して悔しい気持ちも忘れずに、次は失敗しないようにしたいと思います。(5年生)
- ・僕は校長先生のお話を聴いて、失敗は成功につながるということが分かりました。失敗をしたら落ちこんでしまうけれど、その時にはこの失敗は成功につながるということを思い出して、落ちこまずに、成功につながるように努力をしようと思います。(5年生)
- ・このお話はテストの点数が悪かったりリレーで転んでしまったりと失敗をしてしまっても、それが成長につながるというお話でした。私もテストの点数が悪かったりリレーや体育で転んでしまうことがあります。でもこの話を聴いて、その失敗をどうしたら直せるのかや、どうしたらいい点がとれるかなどを、考えたり何か工夫をしたりすることが成長につながると思いました。私はこれから失敗が成功につながることを意識したいと思います。(6年生)
- ・私は校長先生のお話を聴いて、失敗を挽回できれば成長できるということが分かりました。失敗をどんなになげいても成功には変わりません。でも失敗を挽回し、どうしたら成功するのかを考えると成長もするし、成功もします。どんなに失敗をなげいても、そのなげいている時間は何もしていないと同じなので、また同じことをして失敗するだけです。その時間を有効活用して、どうすれば成功できるかを考えれば、成長でき、たくさん成功できると思います。これからも失敗してもなげかずに、挽回する方法を考え「成長」と「成功」したいです。(6年生)



給食の時間に、この道徳便りで掲載した児童に作文を読んでもらいました。全校に放送されるということで緊張気味でしたが、自信を持って自分の作文を読んでいた。



傾聴作文表彰



道徳便りに保護者の皆様からの心に残った出来事やエピソードを掲載したいと思います。子供たちのよい言動・最近見かけた心温まる出来事・家庭での会話から等、どんなことでも結構です。(一年中、受け付けています。) また、道徳便りに名前を掲載してもよいかの記入もお願いします。各担任まで提出して下さい。ご協力よろしくお願いします。

切り取り線

心に残った出来事

年 組 児童名 ()

※ 名前を掲載 (する ・ しない)

